

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、宮城県北、岩手県南地域を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互い理解していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



1. お客様の預金について

当金庫の25年3月末の預金積金残高は1,473億円です。お客様からお預かりした大切な預金は、みなさまから信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

なお、取り扱っている商品については、26ページをご覧ください。

2. 地域のお客様へのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆様へのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心がけております。

【貸出の運営方針】

地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援します。

- ①大口に偏重することなく、多数のお客様にご利用頂けるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
- ②住宅資金や教育資金等公共性の高い資金需要に対しては積極的に支援します。
- ③業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

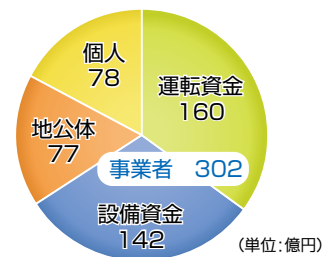
平成24年度における当金庫の貸出残高は【図1】の構成となっております。なお、当金庫で取り扱っている商品については、27ページをご覧ください。

【図1】貸出金残高構成

貸出金残高 458億円

預金積金における
貸出金の割合

31.13%



3. 地域のお客様へのご支援について

当金庫は、疲弊した地域経済の中において、地域活性化、企業再生のために、地域取引先との人：地：機といった濃密な縁で相談のっております。

業務、財務内容等についての確かな分析を行いながら、改善策、経営改善計画書への適切なアドバイスを通じて、支援に取り組んでおります。

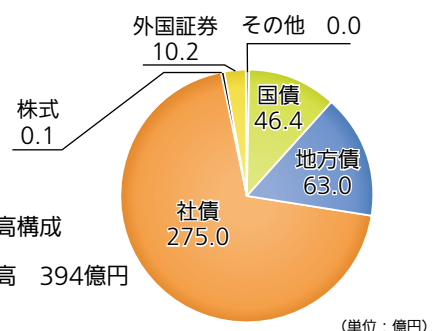
また、会員約500名の「さざなみグループ」が外郭団体としてあり、毎年旅行、新年交歓会等のなかで、長年に亘り会員相互の親睦を育んで参りました。

4. ご融資以外の運用について

当金庫はお客様の預金を、ご融資の運用の他に信金中金への預け金及び有価証券による運用も行っております。この余裕資金の運用にあたっては、安全性や収益性の確保に留意しながら、流動性が高い運用資産の充実に努め適正な支払準備資産を確保しています。

【図2】有価証券残高構成

有価証券残高 394億円



気仙沼信用金庫の地域密着型金融の取組みの状況 ～東日本大震災からの復旧・復興への取組み～



東日本大震災からの復旧・復興に向けて

当金庫は、被災されたお客様に対し、地元の金融機関として真摯に向き合いながら、信用供与の円滑化に取り組むとともに、東日本大震災からの復興および地域経済の活性化に資するべく、以下の施策に取り組んでおります。

◇本部と営業店の連携による相談機能の強化

当金庫は、震災以降に「復興支援課」を新たに設置し、地域復興に資する施策に取り組んでおります。復興支援課は、総勢6名体制（平成25年3月末現在）により、公的支援制度や各自治体における復興施策、復興特区に係る情報を提供するなど、営業店および本部関連部署と連携を図りながら、被災されたお客様のご相談にも対応しております。

営業店においては、南支店・津谷・盛支店に「災害復興相談窓口」を設置するなど、本部と営業店が一体となった相談受付体制を構築してまいりました結果、平成25年3月末までに累計3,943件の融資に関する相談をいただいております。さらに、住宅ローンや個人版私的整理ガイドラインに係る説明会も順次開催しております。

加えて、平成25年2月には、気仙沼市内の内陸部に東新城支店を新設し、同年4月には、震災以降仮設店舗として相談業務を行ってきた志津川支店を近隣の高台へ移転新築し、通常営業を再開しております。

今後については、本部と営業店の連携による同行訪問や地域の復旧・復興状況に合わせた店舗網の再構築に取り組みながら、お客様の利便性向上およびさらなる相談機能の強化を図ってまいります。

《東新城支店(気仙沼市東新城)
落成記念式典の様様》
(平成25年2月18日)



《志津川支店(南三陸町志津川)
落成記念式典の様様》
(平成25年4月15日)



被災者への信用供与の状況等

◇被災者からの申し出による条件変更、信用供与等の実績

当金庫は、東日本大震災以降、かかる甚大な被災状況を踏まえ、一刻も早く地域のお客様と復旧・復興に向けた一歩を踏み出すべく、被災債権の約定弁済の一時停止をはじめとする条件変更に対応してまいりました。

また、被災地に本店を構える地域金融機関として、地域の復旧・復興に向けて、新規融資にも積極的に取り組んでおります。新規融資においては、新商品や既存商品の見直しを含め、さまざまな業種に対する事業性ローンや個人向け消費者ローン等を幅広く提供しており、被災地のニーズに即した円滑な資金供給に努めております。

《被災者との合意にもとづく約定弁済の一時停止実績》

(単位：先、百万円)

	ピーク時(平成23年6月末)		平成25年3月末	
	先数	金額	先数	金額
事業性ローン	168	9,069	7	336
住宅ローン	115	1,092	4	34
その他	103	101	1	2
合計	386	10,262	12	372

《被災者向け新規融資の実行先数・金額》

(単位：先、百万円)

	震災以降累計		うち条件変更先に対する新規融資	
	先数	金額	先数	金額
事業性ローン	708	14,985	61	1,334
うち運転資金	482	8,897	49	1,043
うち設備資金	226	6,088	12	291
住宅ローン	27	310		
その他	65	115	1	1
合計	800	15,410	62	1,335

(注)平成25年3月末までの累計

《東日本大震災以降の条件変更実績》

(単位：先、百万円)

	震災以降累計	
	先数	金額
事業性ローン	108	5,840
住宅ローン	103	892
その他	167	162
合計	378	6,894

(注)平成25年3月末までの累計



気仙沼信用金庫の地域密着型金融の取組みの状況 ～中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況～

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫は、中小企業者向け金融に携わる地域の協同組織金融機関として、地域に密着した渉外活動等を通じて収集したさまざまな情報をもとに、取引実績や事業計画の妥当性を十分検討したうえで、融資権限規程にもとづいた貸出実行に取り組んでおり、地域のお客様への幅広いニーズに迅速・的確にお応えしてまいりました。東日本大震災以降は、被災者支援に取り組むことが重要であるとの認識に立ち、被災した債務者の実態把握と今後の見通しを踏まえた再建支援等に注力することとしております。

今後、復興に向けた状況変化にあわせ、債務者の実態を踏まえつつ、事業の再生可能性を十分に協議・検討したうえで再生支援、経営支援に取り組んでまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当金庫は、本部に設置した復興支援課により、公的支援制度や各自治体における復興施策、復興特区に係る情報を提供するなど、営業店および本部関連部署と連携を図り、お客様のご相談に対応しております。

また、中小企業再生支援協議会をはじめとする外部機関等との連携も視野に入れつつ、マッチング支援等の施策を組み合わせることで、財務内容の改善に留まらず、売上向上策などの業績改善を含めた経営改善支援に、お客様の復興の進捗度合いに留意しながら取り組んでおります。

さらに、地元の金融機関として地域固有の情報を活かした、課題解決型金融サービスを提供できる人材の長期的かつ組織的な育成・活用が不可欠であるとの考えの下、役職員向け研修の開催や外部研修の受講者派遣について、積極的に取り組んでおります。

中小企業の経営支援に関する取組状況

◇三陸復興トモダチ基金を活用した復興支援

当金庫は、平成23年11月に、米国NGO「メーシーコープ」と国内NPO「プラネットファイナンスジャパン」との連携による「三陸復興トモダチ基金」を創設しました。本基金により雇用支援、創業・新事業開拓支援のための助成金制度を導入するとともに、被災者向け利子補給型ローン商品「地域力」、「フロンティア」の提供をしております。

この取組みが評価され、東北財務局より「平成23年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰」、(一社)全国信用金庫協会より「第16回「信用金庫社会貢献賞」特別賞」を受け、また、気仙沼市からも、基金の運営者として国内NPO「プラネットファイナンスジャパン」、基金の拠出者として米国NGO「メーシーコープ」等に対して、市長より感謝状の贈呈がなされております。

○三陸復興トモダチ基金活用状況（平成25年3月末現在）

(単位：件数(人)・百万円)

支援内容		件数	金額
助成金	雇用助成	78(105)	126
	創業助成	36	52
	障がい者向けアクセス改善	2	1 (※1件は金額未確定)
融資	地域力	175	1,438
	フロンティア	23	208
	震災保証制度融資(信用保証協会)	2	33

○第16回「信用金庫社会貢献賞」特別賞

受賞理由:

被災前からの地道な多面的な活動が基盤になっており、地域の一員として震災からの復興に向けて懸命の活動を続けていることを評価されたものです。





◇三菱商事復興支援財団と連携した産業再生、雇用創出への貢献

公益財団法人三菱商事復興支援財団は、被災地の産業再生や雇用創出に寄与するため、事業の再建や新規事業の立ち上げを目指す事業者への出資等を実施していくこととしており、当金庫では、同財団の設立目的に合致する事業を取り組むお客様に対し、同財団の活用を提案しております。さらに、気仙沼市とも連携し、「気仙沼きぼう基金」を設立いたしました。本基金金は、気仙沼市内の事業者から、同財団が得る配当収入を原資に地域産業に再投資しようとするものであり、気仙沼市が中核メンバーに参画し、事務局は当金庫が担当いたします。



◇「しんきんの絆」を活用した資本性資金による支援

信金キャピタル(株)が平成23年12月に組成した復興支援ファンド「しんきんの絆」については、同社の親会社である信金中央金庫や(独)中小企業基盤整備機構のサポートを得ながら、被災されたお客様への資本供給に加え、投資先の経営支援を含めて取り組んでおります。

今後も、信金キャピタル(株)とともに支援候補先企業を選定のうえ、順次お客様への提案を進めてまいります。

◇事業承継に対する支援の強化

当金庫は、東日本大震災以降に事業意欲が減退する事業者も見受けられることから、地域経済の活力を維持するためには、事業承継のニーズを汲み取り、十分に応えていくことが必要であると認識しており、本部・営業店が一体となって、お客様の状況の把握に努めております。また、信金キャピタル(株)等を活用し、事業承継や後継者問題などに悩みを抱える中小企業の相談に応じております。

なお、当金庫は、これらの取組みに係る第一段階として、平成25年1月には、信金キャピタル(株)との「M&A業務協定」を締結し、職員向けに「M&A仲介業務」に関する勉強会を実施いたしました。さらに、(独)中小企業基盤整備機構から講師を招き、平成24年11月から3月まで6回にわたり研修・事例発表会を開催しました。

◇経営改善支援の取組み実績（24年4月～25年3月）

中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条・第5条に基づく措置の実施状況(平成21年12月からの累計)

	(単位：件、百万円)			(単位：件、百万円)	
	平成25年3月末			平成25年3月末	
	件数	金額		件数	金額
貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権	1,314	25,957	貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権	295	2,728
うち、実行に係る貸付債権	1,282	25,545	うち、実行に係る貸付債権	280	2,601
うち、謝絶に係る貸付債権	3	3	うち、謝絶に係る貸付債権	0	0
うち、審査中の貸付債権	4	105	うち、審査中の貸付債権	2	16
うち、取下げに係る貸付債権	25	302	うち、取下げに係る貸付債権	13	111

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

経営改善支援等の取組み実績【24年4月～25年3月】

	①	期初債務者数					経営改善支援取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
		A	うち経営支援取組み先数			α			
			α のうち期末に債務者区分がランクアップした先	β	α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先				
正常先	①	590	1		1	1	0.2%	100.0%	
要注意先	うちその他要注意先	②	179	3	0	3	3	1.7%	100.0%
	うち要管理先	③	4	0	0	0	0	0.0%	—
破綻懸念先	④	53	1	0	1	1	1.9%	100.0%	
実質破綻先	⑤	67	0	0	0	0	0.0%	—	
破綻先	⑥	28	0	0	0	0	0.0%	—	
小計(②～⑥の合計)		331	4	0	4	4	1.2%	100.0%	
合計		921	5	0	5	5	0.5%	100.0%	



販路拡大等事業拡大のためのお客様への支援活動

当金庫は、全国の信用金庫等と連携し、被災地域支援の一環としてビジネスマッチングイベントや個別商談会、年金旅行客の誘致に取り組むなど、各々の機会を最大限に活かし、お客様の売上確保や業績回復、ひいては地域の復旧・復興に向けた支援に取り組んでおります。

○ビジネスマッチ東北実績推移

(単位：件数)

実施年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
全体	参加企業数	253	344	291	384
	商談数	2,587	2,994	2,373	2,585
	成約数	231	300	159	189
うち 当金庫	参加企業数	17	40	7	24
	商談数	57	142	46	118
	成約数	8	11	13	21

○カタログ企画概要、事業スキーム等

取扱期間	カタログでの販売期間は9/5～11/30。
セット商品	被災事業者を中心に23社31商品を対象に3,500円、4,000円、5,000円、10,000円の4種類をパッケージ化。
カタログ作成	A4サイズ、12ページ、フルカラー。 内容は、セット商品紹介、構成する個別商品紹介、注文方法、留意事項、申込用紙。
商品販売方法	「お魚いちば」、「さかなの駅」にて販売、または個別にカタログを配布・紹介。



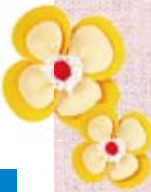
○その他マッチング支援等

イベント名称等	時期	概要等
にっぽん元気マーケット	平成24年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際フォーラムで開催。 ・中小企業庁主催の地域製品の販路拡大を支援するイベントで出展者の費用負担を軽減した展示販売会等。 ・当金庫のお客様に事業内容の説明および出展を勧奨し、16社の出店を誘致。
よい仕事おこしフェア	平成24年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ドームで開催。 ・東北地方および東京都を中心とする63金庫の共催により、ビジネス展示・商談、東北特産品等の展示・即売、行政・教育機関等の特別展示。 ・当金庫において9団体の出展を誘致。

外部専門家等による相談会の開催

当金庫は、多面的な経営改善支援を実施していくうえでは、外部の専門家の外部意見等を活用していくことも有効であるとの考えのもと、地元商工会議所や(独)中小企業基盤整備機構が有する各種専門家の派遣事業をお客様と結び付けていくコーディネーターの役割を担いたいと考えております。

ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業においては、取引先5社を紹介して専門家の支援を得ているほか、平成24年7月には、宮城県信用保証協会との共同で「創業支援融資相談会」を開催し、創業を目指す方を対象に、信用保証協会保証制度や「三陸復興トモダチ基金」を活用した創業支援について説明するとともに、個別相談会を実施し、4先の融資取引を取り扱うことができました。



地域の活性化に関する取組状況

気仙沼市復興プロジェクト「木質バイオマス発電事業」の設備導入に対する支援等について

当金庫では、民間組織との協働による「気仙沼地域エネルギー開発(株)」の設立へ参加するとともに、地域への経済波及効果等を勘案し、被災地復興に向けたモデル事業として意義のある個別プロジェクトに対して支援を行っております。また、地元事業者が検討中の各種エコプロジェクトに係る協議会への参画等を通じ、再生可能エネルギーの設備導入支援に取り組んでまいります。

当金庫では、このような取り組みを複合的に加速させ、水産業・観光業が主要産業である三陸沿岸地域において、食を核とした観光や視察旅行誘致による交流人口の増加、産業の多様化や雇用の創出にも貢献してまいります。

○ 木質バイオマス発電事業の概要

企業名：気仙沼地域エネルギー開発株式会社

事業内容：発電および熱供給事業

発電規模：800kW

稼働時期：平成26年3月（予定）

事業内容：当社は、気仙沼市震災復興計画で掲げる再生可能エネルギー導入プロジェクトを進めるため、当金庫も出資し平成24年2月に設立された企業であり、気仙沼市内に木質バイオマス発電所を建設し、発電事業を行うものです。本事業は、気仙沼地域の間伐材（未利用材）を燃料木として活用することで、森林資源の有効活用による資源循環型発電を実現するとともに、林業再生や雇用創出にも貢献します。

現在、木質バイオマス発電事業による地域の復興と再生に向け、個人山林所有者への伐採講習、間伐材買取に係る地域通貨「リネリア」（※注）の発行等を行い、地域で得られた価値を循環させ、地域経済を持続的に発展させる取り組みを実施するなど、地域の復興に大きく貢献しています。

※注：「リネリア」とは、間伐材買取の半額分に対し、当社が支払う地域通貨（券面1千円）の名称であり、気仙沼市内で加盟する飲食店や仮設商店街のみで使用可能です。

外部機関との連携強化

平成24年7月には、「産・学・金」の連携による被災企業および被災地の復興を目指すため、石巻専修大学、石巻商工会議所、気仙沼商工会議所、石巻信用金庫および当金庫による「三陸産業再生ネットワーク」の協定を締結いたしました。25年2月には、震災後の企業再生に取り組む水産加工事業者への支援を目的に気仙沼魚市場会議室において「復興ブランドフォーラム」を開催し、基調講演、気仙沼産カツオの成分分析に係る調査報告、パネルディスカッションを行いました。



信用金庫業界役員による被災地ボランティアの案内

信用金庫業界では、全国の信用金庫役員からボランティアの申し出があり、(一社)全国信用金庫協会および信金中央金庫からボランティア活動に参加する信用金庫役員に対して、被災地の情報提供、災害ボランティアセンター等との事前調整および宿泊施設・現地交通手段の手配等の支援を実施しております。

当金庫でも、被災地の状況に対する他地域からの理解を得るための機会や交流人口の増加に資すると捉え、地元観光協会やボランティアセンターの紹介等の支援を実施いたしました。平成24年度においては、24年9月から11月にかけて、宮城県気仙沼市大島、南三陸町、岩手県陸前高田市において、観光協会およびボランティアセンターと連携のうえ、総勢49金庫、363名に活動いただいたところです。

